

モバイルITの推進による

業務の効率化、新たな市場とのコンタクトの創出を皆さまとともに！

～新たなITインフラ＝スマートフォン、タブレットの活用事例のご紹介～

世界に先駆けてインターネット接続型携帯電話を社会的に普及した日本ですが、昨年度以降のスマートフォンの急速な普及によって、全く新たなモバイルをITインフラとした用途の可能性が広がっています。

しかし、技術主導の「可能性」に関する喧しい情報の一方で、社会的な有効性の検証や企業活動における効果性の検証は緒についたばかりです。そこで、モバイルITの「現実性」、すなわち、企業活動や地域活動、社会生活での有効性や効果性を検証しながら、モバイルITの社会的な普及・発展を推進することを目的として、昨年7月に地元企業で構成する「三河モバイルIT推進コンソーシアム」を設立致しました。

設立後、商工会議所さまのご賛同をいただき、豊田市では3月7～8日予定している「第4回 とよたビジネスフェア」（於：スカイホール豊田）の情報通信・IT関連ゾーンに出展することとなりました。

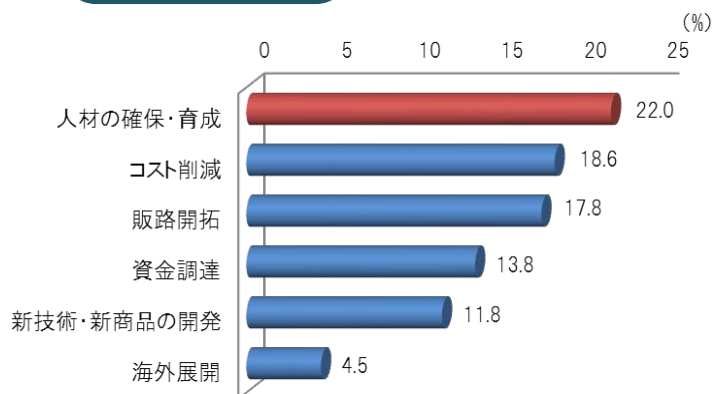
また、岡崎市では、商工会議所さまが主催する「業種別タブレット&スマートフォンビジネス活用セミナー」（NTTドコモ東海支社主催）とのタイアップが実現し、シルバー人材センターでの「スマートフォン教室」の開催を行うこととなりました。

今後も継続して、三河地区の企業の皆さまに「モバイルITの活用事例の紹介」や関連諸情報の提供を行いながら、皆さまとの協業によって、モバイルITの新たなビジネスモデルや用途開発、システム開発を行い、企業活動と社会生活における新たな価値を創出したいと考えております。

そこで、この度、右記ビジネスアンケート結果に基づいて、「人材育成」「コスト削減」「販路開拓」をテーマとしたスマートフォン等の活用事例等をご紹介しながら、皆さまのモバイルITの活用に関するご意向や率直なご評価をお伺いすることと致しました。

お忙しいところ、恐縮ですが、後日改めて担当のものからご連絡を差し上げますので、その際は、どうかよろしくご願ひ申し上げます。

今後の重視する課題



(出所:豊田市「産業振興のための企業実態調査報告書」
2011年 製造業273社の経営者を対象とした調査結果)

2013年2月

三河モバイルIT推進コンソーシアム

会長	可香谷 栄
ビジネスモデル・プランチーム チーフ	松下 昭二
ソリューションチーム チーフ	三宅 創太